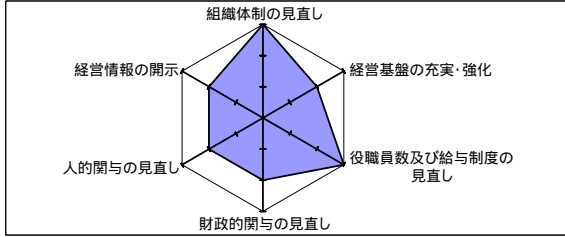


出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

南レク(株)

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	十分達成している
経営基盤の充実・強化	ある程度達成している。
役職員数及び給与制度の見直し	十分達成している
財政的関与の見直し	ある程度達成している。
人的関与の見直し	ある程度達成している。
経営情報の開示	ある程度達成している。

1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

(1) 組織体制の見直し

【評価: 十分達成している】

企画営業部に観光課を新設し、地域密着型旅行エージェント「南レク観光」を始動し、南予観光振興の拠点としての役割向上に努め、地域の活性化に貢献できるよう取り組んでいる。また、10月より受託管理を開始した「津島やすらぎの里」温泉施設については、地域と連携を図ることを目的とするとともに、南レク施設との一体化を目指し企画営業部職員を兼務させ応援体制を整えた。

【20年度2次評価に対する対応】

経営環境は依然として厳しいため、引き続き経営環境に合わせた柔軟な組織体制に取組んでいく。南予観光の拠点及び地域の活性化に寄与すべく、観光課を観光交流課と観光振興課に改編し津島やすらぎの里へ配置するとともに、「南予観光情報センター」を配置する。また、新規イベントの発掘、地元特産品及び南レク施設の有用資源を活用した新商品の開発を促進するため、商品開発課を設置する。管理部においても、専門性を高めるために、新しい役職(技術監)を設けた。

(2) 経営基盤の充実・強化

【評価: ある程度達成している。】

平成20年度は、旅行業と津島やすらぎの里の新規事業で、営業収入は増加したが、準備等の経費が高かったことや、原油高騰のあおりを受け増収減益となった。また、利用者の減少が続いているため「地域密着型エージェント」として、南レク施設と近隣観光施設を併せた旅行コースを企画販売し、利用促進に努めているほか、南楽園は花の周年化を継続し「あやめ」の植栽、「野路菊」「ヒガンバナ」の増殖をする一方、遊歩道を整備して、万葉植物を植栽するなどして魅力ある施設づくりに努めている。しかし、利用者数は、依然として減少傾向が続いているため、徹底した諸経費の削減に努めている。

【20年度2次評価に対する対応】

・依然として利用者数等の減少傾向に歯止めがかかっていない。

対応:「南レク観光」や「津島やすらぎの里」の新たな事業展開により、近隣観光施設を一体化した情報を発信するエージェントセールスに努め集客促進を実施していく。

・津島やすらぎの里の運営に当たっては、利用促進に向け地元と一体となったイベントを開催するなど、地元との連携を十分に図っていただきたい。

対応:「津島やすらぎの里」の受託後、地元料飲組合、宇和島ホテル組合、津島商工会、宇和島商工会議所及び地域住民グループなどによる「やすらぎの里活性化協議会」を設置し、情報や意見を交換する場を設けて施設の管理運営方法の改善を図るとともに、各種イベントの誘致・共催を実施していく。

・子会社サンパル観光㈱の支援が、南レクの経営を圧迫している。

対応:南レク観光により、サンパルを含めた日帰り、宿泊旅行を企画販売し集客に努めている。また、南レク施設を利用するスポーツ合宿に力を傾注し、ホテルサンパル利用を促進していく。

(3) 役職員数及び給与制度の見直し

【評価: 十分達成している】

平成20年度の役員数計画は取締役12名、監査役1名、計13名であったが、20年度中取締役1名辞任により、取締役11名、監査役1名、計12名となった。社員数については、H21年度も変更ありません。なお、やすらぎの里従事者は、全員臨時職員で対応します。社員基本給は、H20年度は、昇給凍結及び業績に応じた賞与の支給を実施しましたが、厳しい経営状況が続いているため、H21年度も同様に、昇給凍結及び業績に応じた賞与の支給をすることで、引き続き人件費の圧縮を図っていく。

【20年度2次評価に対する対応】

平成21年度以降も、役職員数は経営状況に応じた適正な人員配置を実施していく。

2 県の関与の適正化に向けた取組

(1) 財政的関与の見直し

【評価: ある程度達成している。】

H18年度より指定管理者制度導入により管理委託費の削減を実施し、効率的な施設運営を行い適切な収入の確保と経費の削減を求めている。今後の南レクのあり方については年4回程度開催される「ホッと南レク活性化全体協議会」において地元市町、南レク㈱とともに検討を重ねているところであり、一部施設の市町への委譲、スポーツ合宿誘致の促進など可能なものから順次具体化を図ることとしている。

【20年度2次評価に対する対応】

上記のとおり対応した。

(2) 人的関与の見直し

【評価: ある程度達成している。】

県職員OBは、取締役2名(うち1名は代表取締役社長)である。

【20年度2次評価に対する対応】

3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

【評価: ある程度達成している。】

役員会において、事業報告、事業計画について詳細に説明するとともに、県出資法人点検評価部会による答申を報告している。また、貸借対照表、損益計算書をホームページにて情報公開している。

【20年度2次評価に対する対応】

4 総合的評価

社員の意識改革、組織再編、人員の合理化や業務の見直し等の経営努力による経費削減は一定の効果があつたものと認められるが、依然として利用者数や売上が伸び悩んでおり、スポーツ合宿の誘致や今年度から取り組んでいる旅行業によるバック商品の開発、また新たに指定管理者となった宇和島市の「津島やすらぎの里」など、地元の観光資源等と連携したより積極的な経営展開が望まれる。